

当翻訳は、法務省入国管理局による仮訳であり、正確には原文に当たってください。
また、今後当仮訳は精査の上、変更されることがあり得ることにご留意ください。

内務省

国別情報とガイダンス

トルコ：HDP（国民民主主義党）

バージョン 1.0

2016 年 3 月

序文

本報告書は特定種類の庇護と人権に関する請求の扱いに関して、内務省の意思決定者に出身国情報（COI）とガイダンスを提供するものである。これには、請求が庇護の付与、人道的保護または裁量による許可を正当化する公算が大きいかな否か、また、請求が却下された場合に 2002 年国籍・移民・庇護法の第 94 条に基づいて「明らかに事実無根」と認定できる公算が大きいかな否かが含まれる。

意思決定者は、本書に記載されているガイダンス、利用可能な COI、適用される判例法、および該当する政策に関係する内務省のケースワークのガイダンスを含めて、事例に固有の事実と関係するすべての証拠を考慮に入れて、個別に請求を検討しなければならない。

国別情報

本書に記載されている COI は、（通例は）英語で公表されている広範囲にわたる外部情報から編纂されている。情報の妥当性、信頼性、正確性、客観性、通用性、透明性やトレーサビリティが考慮され、正確性を確保するために可能であれば必ず、独立の情報源にまたがって、用いられた情報を裏付けるための試みが行われてきた。挙げられている情報源はすべて、脚注において言及されている。2008 年 4 月付けの 出身国情報（COI）の処理のための EU「欧州連合」共通のガイドライン、および 2012 年 7 月付けの 欧州庇護支援事務所の調査ガイドライン、出生国情報の報告法 を参照して調査と提示が行われてきた。

フィードバック

当省は、提供するガイダンスと情報を絶えず改良することを目指している。このため、本報告書に関して御意見がある場合には、当省に 電子メール を送付されたい。

国別情報に関する独立諮問グループ

国別情報に関する独立諮問グループ（IAGCI）は 2009 年 3 月に国境・入国管理独立検査官により、内務省の COI 資料の内容について同検査官に提言を行うために設立された。IAGCI は、内務省の COI 資料に対するフィードバックを歓迎する。内務省の資料、手続きまたは方針を保証することは、IAGCI の職務ではない。

IAGCI への連絡方法は以下の通りである：

国境・入国管理独立検査官

5th Floor, Globe House, 89 Eccleston Square, London, SW1V 1PN

E メールアドレス：chiefinspectorukba@icinspector.gsi.gov.uk

IAGCI の業務についての情報と IAGCI によるレビューを受けた COI 文書のリストは、国境・入国管理独立検査官のウェブサイト

(<http://icinspector.independent.gov.uk/country-information-reviews/>) で閲覧することができる。

目次

序文	2
ガイダンス	5
1. 序論	5
1.1 請求の根拠	5
2. 問題点の検討	5
2.1 信頼性	5
2.2 除外	5
2.3 リスクの評価	6
2.4 保護	7
2.5 国内移住	8
2.6 認定	9
3. 方針の概要	9
国別情報	11
4. 法的地位	11
5. HDP（国民民主主義党）	11
5.1 背景	11
5.2 2015 年 6 月及び 11 月の選挙	12
6. HDP に対する嫌がらせに関係する要因	13
6.1 政治/選挙関連の動機	13
6.2 PKK との停戦の終了、および HDP と PKK の混同	14
6.3 シュリュジュでの爆破事件	17
7. 2015 年 6 月と 11 月の選挙に関連した暴力	18
7.1 HDP の事務所と支局に対する攻撃	18
7.2 HDP の集会に対する攻撃	21
8. HDP 支持者の逮捕、拘留及び調査	24
8.2 HDP と PKK の間にあると申し立てられている関連	25
8.3 クルド人の自治	27
9. 国家保護	29
バージョン管理と連絡先	33

1. 序論

1.1 請求の根拠

1.1.1 HDP（国民民主主義党）の党员または支持者としての活動を理由に、国家または国家以外の関係者から迫害または深刻な危害を受けるおそれ。

[目次に戻る](#)

2. 問題点の検討

2.1 信頼性

2.1.1 信頼性の評価に関する情報については、[庇護に関する指示：信頼性の評価と難民資格について](#)を参照。

2.1.2 意思決定者は、英国のビザまたは別形式の許可に対する申請がこれまでに行われているかどうかもチェックしなければならない。ビザと組み合わされた庇護申請の有無については、庇護の面接の前に調査すべきである（[庇護に関する指示：ビザとの組み合わせ、英国のビザ申請者からの庇護請求について](#)を参照）。

2.1.3 意思決定者は、言語分析のテストを実施することの必要性も検討すべきである（[庇護に関する指示：言語分析について](#)を参照）

[目次に戻る](#)

2.2 除外

2.2.1 HDP と PKK は、異なる目的を持つ別個の組織である。ただし、HDP は PKK との関連を非難されてきた。PKK は、数々の重大な人権侵害に関する責任がある。英国においては 2000 年テロ防止法に基づき、2001 年 3 月以降違法とされており、EU のテロ組織一覧にも掲載されている（[トルコ：PKK](#)に関する国別情報とガイドンスを参照）。

2.2.2 当該者が PKK に所属している、または所属すると公言している、または PKK への支持を勧誘している — または過去においてそうしたことがある — ことが認められれば、意思決定者は除外条項の 1 つが適用可能か否かを検討しなければならない。

2.2.3 除外条項、裁量による許可、および制限付き許可に関する詳細情報は、[庇護に関する指示：除外：難民条約第 1 条 F](#)、[庇護に関する指示：裁量による許可](#)、および [庇護に関する指示：制限付き許可](#)を参照。

2.3 リスクの評価

2.3.1 HDP は、クルド人、その他のナショナル・マイノリティ、女性と緑の集団、及び政治的左翼に属するものの同盟として 2013 年に結成された。HDP は、トルコの南部と南東部にある伝統的なクルド人基盤に加えて、全トルコ人に訴えかけようとし、民族的マイノリティの候補者数名を 2015 年の 6 月と 11 月の選挙で立候補させた ([HDP：背景](#)を参照)。

選挙前の暴力

2.3.2 2015 年の 6 月と 11 月の選挙に向けての準備段階で、HDP の選挙事務所を標的として数百回の攻撃が行われた。2015 年 5 月 18 日にはアダナとメルスィンにある同党の支局に対して、同時に爆弾攻撃がしかけられた。誰がその攻撃の首謀者なのかは明らかになっていないが、一部のコメンテーターは、トルコの極右民族主義者団体が関与していた可能性があるとして示唆し、エルドアン大統領とその他の政府高官が HDP と PKK を同一視する公式声明を発表したことにより部分的にこれをあおったと主張する者もある。いくつかの攻撃は、PKK の行為に対する報復のように思われた ([嫌がらせの動機と扇動](#)、および [HDP の事務所と支局への攻撃](#)を参照)。

2.3.3 2015 年 6 月 5 日には、ディヤルバクルにおける HDP の最後の選挙集会に爆弾攻撃が行われ、それに続いて 2015 年 10 月 10 日には、HDP の出席していたアンカラでの平和集会にさらなる爆弾攻撃が仕掛けられた。自爆テロ犯の 1 人は Daesh (イスラム国) との関連をもつテロリストであると特定された ([HDP の集会への攻撃](#)および [シュリュジュの爆発事件](#)を参照)。

2.3.4 2015 年 8 月に HDP は、2015 年 7 月のシュリュジュでの爆発事件を受けてのエルドアン大統領による弾圧以降、1,000 名を上回る党員が拘留されていると推定した。この爆発事件は、クルド民族で Daesh と関連をもつと報じられているトルコ市民が実行したと考えられている ([シュリュジュの爆発事件](#))。

2.3.5 HDP 党員の逮捕と拘留は、トルコの治安部隊が同国南東部で大規模な作戦を実行したために、2015 年 7 月に政府と PKK の停戦が崩壊したことと関連していることがさらに示唆された。HDP と関係をもつ数多くの市長や政治家が逮捕され、少なくともいくつかの事例においては、逮捕は彼らの地域における「自治」宣言と関連している、または PKK を支持していると非難されていたためであると思われた。HDP の地方の役員が拘留されたのは、明らかに PKK の青年部に対する弾圧と関連していた ([シュリュジュの爆発事件](#)および [HDP 支持者の逮捕、拘留と調査](#)を参照)。

2.3.6 HDP は 2015 年 10 月に、HDP の選挙公約が「行政上の自治」に言及していたために地方裁判所がこれを禁止したと主張した。また 2015 年 10 月には、刑事裁判官が、テロ防止法に基づく捜査における犯罪の証拠として、『地方分権政府』に言及していた HDP のチラシの没収を命令した（クルド人の自治を参照）。

選挙後の暴力

2.3.7 ある検察官が 2015 年 12 月、クルド人の独立性拡大を呼びかけたセラハッティン・デミルタシュについての捜査を開始し、エルドアン大統領は、自治についてコメントした容疑で、HDP 指導者に対する犯罪捜査を支持すると述べた。トルコの警察は 2016 年 1 月 8 日に HDP のイスタンブール事務所の 1 つに対して行われた家宅捜索で HDP の上級地方役員たちを拘留したが、これは、エルドアン大統領が同党の党员に対する法的措置を支持すると述べてからわずか 2 日後のことであった。同党の役員は、拘留の理由はいっさい示されなかったと述べた（HDP 支持者の逮捕、拘留と調査を参照）。

2.3.8 2015 年 12 月に PKK を支援した容疑で、イズミール県で 9 名のクルド人政治家と HDP 党员が逮捕された（HDP と PKK の間にあると申し立てられている関連を参照）。

結論

2.3.9 当局に注視されるリスクが特に高いのは、PKK への関与を疑われている、またはクルド人の自治を支持していると疑われている HDP の上級党员と党员である。HDP の一般の党员が当局に注視されるのは一般的に、デモや集会に参加している時であり、そうでなければ普通の党员は一般的には、政治的信条を理由に当局の敵対的な関心を引くことはないはずである（HDP 支持者の逮捕、拘留と調査を参照）。

2.3.10 国別情報とガイダンス、トルコ：PKKおよびトルコ：クルド人も参照。

2.3.11 リスク評価に関する詳細なガイダンスについては、庇護に関する指示：信頼性の評価と難民資格についてを参照。

目次に戻る

2.4 保護

2.4.1 当該者が国家より迫害を受けるおそれを感じている場合には、当局の保護を得ることはできそうにない。

2.4.2 当該者が国家の職員以外（ならず者国家の職員を含む）により迫害を受けるおそれを感じている場合には、有効な保護が得られる場合がある。

2.4.3 HDP の事務所が暴徒化した群衆から継続的に攻撃された時に、トルコ当局が適切な保護を行わなかったという報告があった。ヒューマン・ライツ・ウォッチやアムネスティ・インターナショナルなどの団体により、当局がもっと断固とした姿勢でこうした事件を調査し、今後における類似の状況に対処するようにという呼びかけが行われた。2015 年 6 月に行われた HDP の集会や 10 月の平和集会で負傷者を救助していた人々や爆弾攻撃から逃れようとしていた人々に対し、警察が催涙弾を使用したという報告もあった（国家の保護を参照）。

2.4.4 ただし 2015 年 9 月には、警察が HDP に対する攻撃に関わった 300 人以上を逮捕したことが報じられた。HDP に対するこれらの攻撃は、エルドアン大統領、ダウトグル首相その他の政治指導者により強く非難された。ディヤルバクルで行われたクルド寄りの国民民主主義党（HDP）の集会での爆発に関して容疑者が拘留され、爆破事件はエルドアン大統領その他の政治指導者によって糾弾された。文化相はアダナとメルスィンにある HDP の事務所に対する攻撃を非難し、この爆発について捜査を行うために警察、憲兵隊と国家情報機構（MIT）と協力して特別ユニットが結成されたと述べた。HDP が出席していたアンカラでの平和集会に対する攻撃に関与していた疑いのある 13 名が拘留され、攻撃についての調査が続いた（国家の保護を参照）。

2.4.5 国別情報とガイダンス、トルコ：保護の主体と国内移住を含む背景も参照。

2.4.6 国家保護が利用可能であるか否かの評価に関する詳細なガイダンスは、庇護に関する指示：信頼性の評価と難民資格についてを参照。

目次に戻る

2.5 国内移住

2.5.1 当該者が国家による迫害または重大な危害を受ける危険にさらされる場合には、その危険から逃れるために転居することはできないであろう。

2.5.2 当該者が国家の職員以外（ならず者国家の職員を含む）による迫害または重大な危害を受ける危険にさらされる場合には、その危険から逃れるための国内移住が利用可能である公算が大きい。

2.5.3 トルコ国民は、国内全土を自由に移動することができる（国別情報とガイダンス、トルコ：保護の主体と国内移住を含む背景を参照）。

2.5.4 意思決定者は、特定の人の個別の状況を十分考慮に入れて、事例ごとに国内移住の妥当性と合理性を慎重に検討しなければならない。

2.5.5 国内移住の検討に関する詳細なガイダンスについては、庇護に関する指示：信頼性の評価と難民資格についてを参照。

[目次に戻る](#)

2.6 認定

2.6.1 HDP の党员または支持者であることに基づく請求が却下された場合には、2002 年国籍・移住・庇護法の第 94 条に基づいて「明らかに事実無根」と判断され得る場合がある。

2.6.2 認定に関する詳細なガイダンスについては、上訴に関する指示：2002 年国籍・移住・庇護法の第 94 条に基づく保護と人権請求の認定（明らかに事実無根の請求）についてを参照。

[目次に戻る](#)

3. 方針の概要

3.1.1 HDP と PKK は異なる目的をもつ別個の組織である。ただし、HDP は PKK との関連を非難されてきた。PKK は、数々の重大な人権侵害に関する責任があり、英国においては 2000 年テロ防止法に基づいて違法とされている。当該者が PKK に所属している、または所属していると公言している、または PKK に対する支持を勧誘している — または過去においてそうしたことがある — ことが認められる場合には、除外条項が適用される公算が大きい。

3.1.2 多くの HDP 党员が PKK か、クルド人の自治に対する支持のいずれかに関与した容疑で当局によって逮捕され、告発されてきた。当局が PKK に所属している、または所属していると告白する、または PKK への支持を勧誘する、または過去において勧誘した人を訴追することは適法である。

3.1.3 2015 年の 6 月と 11 月の選挙の双方の最中に、また PKK との停戦の崩壊を受けて、HDP の事務所が数えきれないほど攻撃されて、HDP の党员と支持者が負傷した。これら攻撃のそれぞれの実行犯は明らかになっていないが、PKK の活動に対するトルコ民族主義者による報復攻撃が疑われる一方で、Daesh (ISIL) によるものとされる攻撃もある。

3.1.4 トルコ当局は、HDP の事務所と平和的デモが攻撃を受けた際に適切な保護を提供しなかったことを批判されてきた。ただし、こうした攻撃のいくつかはトルコ政府によって強く非難され、当局はこれら攻撃について捜査したり容疑者を逮捕したりしてきた。一般論として、有効な保護が与えられている。

3.1.5 HDP の一般党员が当局から注視されたのは一般的に、デモや集会に参加していた時

で、そうでなければ、一般党員がその政治的信条を理由として当局の敵対的な関心を引くことは概ねないだろう。ただし、当該者が **HDP** の上級党員である、またはそれ以外で **PKK** への関与またはクルド人の自治に対する支持を疑われたために当局に目をつけられた場合には、危険な場合があるが、各事例はその個々の事実に従って評価されなければならない。

3.1.6 国家の職員以外（ならず者国家の職員を含む）からのリスクを逃れるための国内移住は、一般論として利用可能な公算が大きいですが、各事例はその個々の事実に従って評価されなければならない。

[目次に戻る](#)

4. 法的地位

4.1.1 2014 年を対象とし、2015 年 6 月に公表された米国国務省のトルコの国別人権報告書は、次のように述べていた。「憲法と法律により、国民は自由で公正な選挙を通じて政府を変えることができ、国民は普通選挙権に基づく選挙を通じてこの権利を行使した。政府は一部の政党と指導者たちの活動を制限した」¹

[目次に戻る](#)

5. HDP（国民民主主義党）

5.1 背景

5.1.1 オーストリア連邦移民・庇護局は 2015 年に、次のように述べる報告書を公表した。

「HDP はクルド人、その他のナショナル・マイノリティ、左翼、女性や環境主義団体の同盟として、2013 年に結成された。投獄された PKK の指導者、アブドゥラ・オジャランがその設立を提言したと理解されている...反体制勢力の左翼に大きな間隙を見ていたオジャランがトルコのすべての左翼運動を一つにまとめる包括的な政党を呼びかけたのは、平和民主党（BDP）がクルド人にしか訴えかけず、同国の南東部に閉じこもっていたためである。BDP は、アナトリアの南部地域と南東部地域にいるクルド人を超えて、他の選挙区で支持を伸ばすのに大いに難渋していたため、BDP と HDP は様々な左翼と社会主義者、進歩主義者や西欧指向の団体を結びつけた...

「HDP の公約によれば、HDP は、民主主義、自由と平等、平和、労働、自治、男女平等やエコロジーを支持する政党であると自らを定義している...

「...HDP は、クルド人を主体とする支持基盤を超える有権者、すなわち非宗教的なトルコ人、女性やゲイなどの支持を受けようとする、生粋のトルコの政党というイメージを打ち出し始めた。選挙運動中に、HDP はエルドアンに歯止めをかけることを望み、より左寄りのトルコを求めるすべてのトルコ人にとっての選択肢として自らを描こうと奮闘した...すでにその基盤から、活動家やゲジ公園での抗議行動への共鳴者が HDP を一つの政治的選択肢と考えるであろうことは、明白であった。同党はこうした活動

¹ 米国国務省。「2014 年国別人権報告書」、2015 年 6 月公表（トルコ；セクション 3；政治的権利の尊重：国民が政府を変える権利）。

<https://www.state.gov/j/drl/rls/hrrpt/humanrightsreport/index.htm?year=2014&dliid=236586> アクセス日：2016 年 1 月 13 日。

に熱心に関わっていたからである...

「クルド人という伝統的基盤を超える有権者に訴えかける全国的な政党になろうと、HDP は 2015 年の選挙戦でアルメニア系、ヤジディ教徒、シリア系、ロマ人やアレビ派など数名のマイノリティ候補を立候補させた...

「HDP は 2013 年に創立され次第、その目標に沿って、女性に 50%のクォータを割り当てたほかに LGBT に 10%のクォータも割り当てた。2015 年に国会選挙が行われた結果、HDP の新議員 80 名のうち 40%が女性となり、どの党よりもその割合が高くなった。HDP の立候補者にはクルド人以外にアルメニア系、ヤジディ教徒やアッシリア系がいた。また、ゲイであることを公表している候補者を立てたのは国内で HDP だけであった」²

5.1.2 EurasiaNet は次のように述べていた。「パイラン [HDP 所属で国会議員に当選したガロ・パイラン] は、同党から立候補した 3 人のアルメニア系の中に入っていたが、[2015 年 6 月に] 当選したのは彼 1 人であった。同党の選挙戦略はそのクルド人基盤を超えて、多元主義と民主主義を踏まえて訴えかけることであった。同党はロマ系と LGBT の候補者を立てて、彼らは国会には当選しなかったが、現職のアッシリア系のキリスト教徒も候補に立てて、こちらは再選された」³

[目次に戻る](#)

5.2 2015 年 6 月と 11 月の選挙

5.2.1 米国議会調査局は、2015 年 6 月の選挙について、以下のようにコメントした。

「AKP は、大統領職とその現職者（エルドアン）の総合的権力を強固にするよう構成された『大統領制度』に関して、国民投票を開催できるようにしたはずの圧倒的多数はおろか、過半数にも満たなかった。AKP が当てにしていた議席のいくつかは、国民民主主義党（HDP）—クルド人の民族主義運動に根差す政党—が選挙の最低基準値である 10%を超えたために、同党が獲得した。HDP の指導者セラハッティン・デミルタシュの...戦略は、HDP のクルド人支持基盤を超えて、リベラルで非宗教的なトルコ人や、エルドアンを警戒している、またはエルドアンに飽きているその他の有権者に訴えかけることであった。保守的で宗教心が強く、主にトルコの南東部に集中して

² オーストリア共和国。連邦移民・庇護局。「クルド人。歴史、宗教、言語、政治」、2015 年公表。http://www.bfa.gv.at/files/broschueren/KURDS_Monographie_2015_11.pdf アクセス日：2016 年 1 月 8 日。

³ EurasiaNet。「トルコ：国会議員選挙で少数民族のアルメニア人が政治的発言権を得る」、2015 年 6 月 11 日付。Refworld：<http://www.refworld.org/docid/559a4d3d4.html> で閲覧可能。アクセス日：2016 年 1 月 7 日。

これまでの選挙で AKP を支持してきたクルド人の多くは、支持の対象を明らかに HDP に変えた」⁴

マイノリティ・ライツ・グループ・インターナショナルは、HDP が投票数の 13% とトルコ国会の 80 議席を獲得して、AKP が過半数をコントロールすることを阻止したと述べた。⁵

5.2.2 2015 年 11 月の Middle East Forum のある記事は、次のように述べた。「[2015 年 6 月の選挙の後に] 連立政府で野党と権力を共有することを拒否した後、エルドアンは多数派のいない国会を刷新するための新たな選挙を呼びかけた。エルドアンは、6 月の選挙結果はトルコ国民が新たな投票で『正す』べき『誤り』だとして、国民の考えを変えることに乗り出した」。⁶その結果、2015 年 11 月 1 日に実施された選挙では、HDP は 10% の基準をкаろうじて超えられただけで、6 月の得票数 13% と 80 議席とは対照的に、獲得議席数は 59 議席で終わった。⁷

[目次に戻る](#)

6. HDP に対する嫌がらせに関係する要因

6.1 政治/選挙関連の動機

6.1.1 2015 年 5 月に、アル-モニターは次のように述べた。

「[2015 年 6 月の] 選挙戦が始まって以来、デミルタシュはエルドアンとアフメト・ダヴトグル首相から絶えず攻撃されてきた...AKP は HDP を 10% の基準値未満に抑え込もうとして、HDP とデミルタシュを標的に、やれることをすべてやり尽くしている。HDP が 10% 未満にとどまれば、AKP はトルコ選挙制度の複雑さの結果、同党にふさわしいよりも 50 議席以上も多い議席を獲得するだろう。そうすればエルドアンは、大統領制度についての自らの計画を達成するのに必要な国会の投票を得る可能性がある...

⁴ 米国議会調査局。「2015 年 6 月の選挙後のトルコ:エルドアンと AKP は過半数に及ばず」、2015 年 6 月 16 日。IN10292。Refworld のウェブサイト:

<http://www.refworld.org/docid/55a4ddbc4.html> アクセス日: 2016 年 1 月 7 日。

⁵ マイノリティ・ライツ・グループ・インターナショナル。「トルコで続く暴力を懸念する MRG、危機に対する平和的解決を促す」、2015 年 9 月 15 日。Refworld のウェブサイト: <http://www.refworld.org/docid/55fbc2c4.html> で閲覧可能。アクセス日: 2016 年 1 月 7 日。

⁶ Middle East Forum。「背景説明: 2015 年 11 月のトルコの選挙」、2015 年 11 月 11 日付。<http://www.meforum.org/5623/background-turkey-november-2015-election> アクセス日: 2016 年 1 月 8 日。

⁷ Caucasus Edition; Journal of Conflict Transformation。「トルコ—2015 年 11 月」(国内政治)、2015 年 12 月 1 日付。

<http://caucasusedition.net/monthly-review/turkey-november-2015/> アクセス日: 2016 年 1 月 8 日。

「こうしたことを背景に、HDP 党員に対する嫌がらせがエスカレートしている。反デミルタシュと反 HDP のキャンペーンの実施者たち — ダウトグル [首相] やアクドアン [副首相] を含む — は、アダナとメルスィンを攻撃すべきだと非難して、それがどれほど危険なレベルに達する可能性があるかを予想しなかった...」。この記事はさらに、「...[選挙前の世論調査から得られた数字が] AKP 当局での緊張感の高まりと、HDP に対する嫌がらせの増加を説明している」と述べた。⁸

6.1.2 このテーマに関する詳細情報は、PKK との停戦の終了、および HDP と PKK の混同 も参照。

目次に戻る

6.2 PKK との停戦の終了、および HDP と PKK の混同

6.2.1 トゥデイズ・ザマン紙は 2015 年 12 月に次のように報じた。

「[2015 年] 7 月下旬に PKK とトルコの治安部隊の間の停戦が終了して以来、南東部で PKK が治安部隊への攻撃を強化したことに伴い、暴力が急激にエスカレートしている。長年にわたるトルコのクルド人問題に終止符を打つために、2012 年後期に政府と PKK の間で始まった調定プロセスが終了してからというもの、治安部隊のメンバーおよそ 200 人が衝突と攻撃で死亡し、南東部の 17 の地区に戒厳令が敷かれ、20 万人近くの住民が家から立ち退くよう強制された。

「治安部隊は、南東部のいくつかの町でテロリストが路上に掘った塹壕を撤去するために大規模な作戦を実施している。同地域で作戦が続いているため、日常的に激しい衝突が起きている」⁹

6.2.2 アル・ジャジーラは PKK との停戦が終了したことから、HDP の状況について次のように報じた。「緊張の高まりにより、HDP の共同党首で平和を政治綱領に掲げて選挙戦を進めたセラハッティン・デミルタシュは、政府からの圧力と党内での不満の高まりという圧力の政治的地雷原をかじ取りして進むことを強いられている。デミルタシュは同時に、PKK およびその暴力行為から党を引き離そうと努めている...

⁸ アル・モニター。「トルコの親クルド政党に対する攻撃は何を意味するのか?」2015 年 5 月 19 日付。

<http://www.al-monitor.com/pulse/originals/2015/05/turkey-kurds-hdp-wild-card-bombing-attacks.html?sessionid=218BF67E94D2ED31ED324FC10AD17020#> アクセス日：2016 年 1 月 8 日。

⁹ トゥデイズ・ザマン紙。「不正入札の申し立てをめぐって、メルスィンで HDP 所属の市長、その他 24 名が拘留」、2015 年 12 月 18 日付。

http://www.todayszaman.com/anasayfa_hdp-mayor-24-others-detained-in-mersin-over-a-logged-bid-rigging_407330.html アクセス日：2016 年 2 月 3 日。

「ワシントン DC に本拠を置く、研究者のためのウッドロー・ウィルソン国際センターで中東プログラムのディレクターを務めるヘンリー・バーキーによれば、危機の深まりは、トルコにおけるクルド人の政治的将来にとってこれまでで最大の課題を突き付けている。

『政府は、新たな選挙が行われる場合には、HDP をできる限り PKK と関連付け、訴訟を起こし、HDP を数段下に貶めるためにメディアを利用することで、HDP を防御側に立たせようとしている』とバーキーは言う。『特に HDP について報道させないよう政府がメディアに圧力をかけていることを考えれば、HDP は政治討論から締め出されるリスクを冒している。今見えているのは、本質的に孤立化政策である。』

「敵対心の高まりにより、デミルタシュは今月前半、[政府と PKK の] 双方に対して停戦へと戻るよう促した...だが、そのメッセージは馬の耳に念仏かもしれず、一部のアナリストは、クルド人の政治指導者とクルド人の武装集団の間で反目が高まりつつあることを示唆している。

「PKK の指導者であるオジャランはクルド人の運動の多くに対して影響力を行使し続けているが、4 月以来獄中に隔離されており、外部世界とコミュニケーションをとることができない。HDP と PKK の間には意思疎通のつながりがあるが、情報筋によれば、同党にはその戦士に対する影響力がほとんどないという。

「イスタンブールにあるカディルハス大学の国際関係論の教授であるソリ・オゼルによれば、HDP が 6 月の選挙で政治的に勝利して得票数の 13%を確保し、国会の 80 議席を獲得したことで PKK の価値が下がる一方で、トルコ国内で PKK の戦士による攻撃が増えていることが脅威となって、有権者を親クルド的な党派から離れさせる可能性があるという。

『HDP は文字通り板挟みになっている』とオゼルはアル・ジャジーラに対して語った。『デミルタシュはさっさと PKK との間に距離を置かなかったため、PKK に対してよりラジカルな立場をとらざるを得なくなると思う。同時に、残忍なところのある PKK も、デミルタシュの注目度が高いのを嫌っていることを示している。クルド人の政治運動の民間人部門は今やトルコ国会に議員を送り出しており、PKK からイニシアチブを奪う可能性がある』¹⁰

¹⁰ アル・ジャジーラ。「トルコと PKK の停戦終了により、HDP は難しい立場に」、2015 年 8 月 10 日付。
<http://www.aljazeera.com/news/2015/08/turkey-pkk-ceasefire-puts-hdp-tough-spot-150806110231827.html> アクセス日：2016 年 2 月 3 日。

6.2.3 ヒューマン・ライツ・ウォッチは、2015 年 9 月付けの記事で次のように述べた。

「党の事務所だけでなく様々な町のクルド人地区に対して行われた攻撃は、選挙後に HDP とその指導者であるセラハッティン・デミルタシュに対してエルドアンが共同で行った組織的中傷と分かちがたく結びついている。この中傷は同党をテロリストとして糾弾するもので、この中傷では、警察や兵士に対して PKK が行った恐るべき攻撃が利用されて、都合の良い言い訳となっている」¹¹

6.2.4 米国議会調査局は 2015 年 11 月に次のように記した。

「大規模デモの一環として HDP の政治事務所に対して行われた何件かの攻撃は、PKK の行為に対する明らかな報復として行われた。HDP のいくつかの事務所も、6 月の選挙の前に攻撃された。こうした報復の挑発者についての理論は、トルコの民族主義的集団に焦点を当て、コメンテーター数人は、エルドアンが HDP と PKK を混同するような公式声明を用いて一部教唆を行った可能性がある」と主張している」¹²

6.2.5 2015 年 10 月、オンラインニュースのミドル・イースト・アイは次のように記した。「HDP の抱えている問題の多くの根っこが、HDP は国会における PKK の合法的副産物 — トルコのレジェップ・タイイップ・エルドアン大統領によって、「人為的な」関連があると説明されたこと — であるという共通の認識から生じているのは、HDP がクルド国家に対する大望を支持し、PKK の創作者、アブドゥラ・オジャランを尊敬していると申し立てられているためである。

「その結果、HDP が停戦を復活させ、(政府軍及び PKK の) 双方の側での敵意を中断するよう呼び掛けているにもかかわらず、公共サービスや治安維持サービスの間では、PKK による暴力行為がまとめて HDP の責任だと非難されてきた」¹³

6.2.6 このテーマに関する詳細情報については、政治面/選挙面での動機 も参照。

[目次に戻る](#)

¹¹ ヒューマン・ライツ・ウォッチ。「トルコ：暴力がエスカレートする中でのメディアへの弾圧」、2015 年 9 月 11 日付。<http://www.refworld.org/docid/55f69d7a4.html> で閲覧可能。アクセス日：2016 年 1 月 13 日。

¹² 米国議会調査局。「トルコ：背景と米国との関係の要約」、2015 年 11 月 13 日付。R44000。<http://www.refworld.org/docid/5666950d4.html> で閲覧可能。アクセス日：2016 年 1 月 13 日。

¹³ ミドル・イースト・アイ。「治安に関する懸念がトルコの投票準備期間に影を落とす」、2015 年 10 月 29 日付。<http://www.middleeasteye.net/news/elections-loom-turkey-hdp-fear-security-their-supporters-1276687814> アクセス日：2016 年 1 月 13 日。

6.3 シュリュジュの爆破事件

6.3.1 BBC ニュースのウェブサイトは、2015 年 7 月 20 日にシュリュジュで起きた HDP の党员や支持者に波紋を投げかけた爆破事件に関して、以下のように報告した。

「トルコのシュリュジュの町で爆発物を使った攻撃があり、隣国シリアの町、コバニ [主にクルド人の暮らす町] の再建について話し合うための青年活動家の会合中に少なくとも 30 人が死亡した。その他に 100 人程度が爆発で負傷した...と当局者は語っている。コバニでは IS の過激派とクルド人過激派の間で熾烈な闘いが行われてきたが、今年早くに、クルド人により IS の武装勢力から奪還されていた。

「社会主義青年団連合 (SGDF) は、爆発の起きたシュリュジュのアマラ文化センターに少なくとも 300 人のメンバーを滞在させていたと報じられている。青年たちはコバニに移動して町の再建に力を貸そうと計画していた。

「シュリュジュの住民は 6 月 5 日にディヤルバクルで親クルド政党の選挙集会が襲撃を受けて以来、IS の次の標的になることを恐れてきた、と彼は言う。シュリュジュでは、コバニでの戦闘から逃れてきた多数の難民が収容されている」¹⁴

6.3.2 ニューヨーク・タイムズは 2015 年 7 月 22 日、シュリュジュの爆発事件の犯人が特定されたと報じた。「自爆犯...は、イスラム国とのつながりがあると考えられるトルコ国民だと特定された、と政府高官は水曜日に述べた。自爆犯の Seyh Abdurrahman Alagoz は 20 歳の大学生で、最近シリアから帰国し、DNA 鑑定で特定された...『捜査は続いているが、容疑者が Daesh とつながっていたという証拠がある』と高官は語った...」¹⁵

6.3.3 ニューヨーク・タイムズは、シュリュジュの爆破事件への報復として PKK の軍事部門が警察官 2 名を殺害し、PKK はトルコ当局が IS と共謀していたと主張している、と付け加えた。このことは HDP の支持者と党员に再び反響を及ぼした。

「これとは別に、国境の町、Ceylanpinar で水曜日に 2 人の警察官が自宅で銃撃されて死亡した、と地区の長官が述べた。この攻撃については、クルド人分離派グループで、30 年にわたって 4 万人以上が亡くなった紛争を受けて、トルコ政府との危うい和平プ

¹⁴ BBC ニュース。「シュリュジュの虐殺：トルコ国境の爆発で、少なくとも 30 人が死亡」、2015 年 7 月 20 日付。<http://www.bbc.com/news/world-europe-33593615> アクセス日：2016 年 2 月 2 日。

¹⁵ NY タイムズ。「シュリュジュの自爆犯は、おそらく IS とのつながりをもつトルコ人であると言われている」、2015 年 7 月 22 日付。
<https://www.nytimes.com/2015/07/23/world/europe/turkey-suruc-bombing.html> アクセス日：2016 年 2 月 2 日。

ロセスに当たっているクルド労働者党（PKK）の関連軍事組織が犯行声明を出した。このグループ、人民防衛軍はそのウェブサイトで、この攻撃は『シュリュジュの虐殺』に対する報復であったと述べた。この組織はさらに、ジハード主義者と協力しているという警察を糾弾した」¹⁶

6.3.4 2015 年 8 月に IRIN は次のように記した。「HDP の支持者を標的としていたが、広く ISIS のせいだとされていた[2015 年 7 月の]シュリュジュの爆破事件以来、エルドアンが弾圧を行っているために HDP は 1,000 人を上回る党員が拘束されていると推定している」¹⁷

[目次に戻る](#)

7. 2015 年 6 月と 11 月の選挙に関連した暴力

7.1 HDP の事務所と支局に対する攻撃

7.1.1 アル-モニターは 2015 年 5 月、2015 年 6 月の選挙の準備段階における HDP 党への嫌がらせについて報じた。「先週末、ソーシャルメディアは、トルコの 81 県の 4 分の 3 にあたる 60 の県で、HDP の選挙事務所と支局を標的にして 122 件の攻撃が行われたことを報じた...

「嫌がらせは今週明け [2015 年 5 月 18 日に始まる] には、最も危険なレベルに達した。[2015 年] 5 月 18 日には地中海沿いのアダナとメルスィンの 2 都市にある同党の支局に同時に爆弾攻撃が仕掛けられた。アダナはトルコ第 4 の都市、メルスィンは上位 10 都市に入っていて、双方ともにクルド人住民が多い。爆弾で HDP 事務所は徹底的に破壊され、3 人が負傷し、1 人は重傷を負った。メルスィンの事件では、きわめて人気の高い同党のセラハッティン・デミルタシュ党首の到着予定時刻の数分前に爆発が起きたため、同党首とその他の役員たちの命は奇跡的に失われずに済んだ。このため、この事件はデミルタシュの生命をねらったものと解釈することが可能である...」¹⁸

¹⁶ NY タイムズ。「シュリュジュの自爆犯は、おそらく IS とのつながりをもつトルコ人であると言われている」、2015 年 7 月 22 日付。

<https://www.nytimes.com/2015/07/23/world/europe/turkey-suruc-bombing.html> アクセス日：2016 年 2 月 2 日。

¹⁷ 統合地域情報ネットワーク（IRIN）。「事実のチェック：トルコはクルド人と闘うための言い訳として ISIS を利用しているのか?」、2018 年 8 月 11 日付。

<http://www.refworld.org/docid/55cb13c74.html> で閲覧可能。アクセス日：2016 年 1 月 13 日。

¹⁸ アル-モニター。「トルコの親クルド政党への攻撃は何を意味するか?」、2015 年 5 月 19 日付。

<http://www.al-monitor.com/pulse/originals/2015/05/turkey-kurds-hdp-wild-card-bombing-attacks.html?jsessionid=218BF67E94D2ED31ED324FC10AD17020#> アクセス日：

7.1.2 アダナとメルスィンにある HDP の支局に対する攻撃について報じた BBC ニュースのウェブサイトは、次のように述べていた。「活動を禁止されているクルド労働者党（PKK）とつながりがあるとして HDP を非難する民族主義者たちが、この 2 件の爆破事件の背後にすることが疑われている。ただし HDP の声明は、「政治当局によって指示されている闇の勢力」について語り、大統領、首相および AK 党のその他の大物たちに責任があるとした。

「この親クルド政党の事務所は、先月 [2015 年 4 月] に首都アンカラで武装した襲撃者の標的とされたが、負傷者はいなかった」¹⁹

7.1.3 2015 年 9 月にヒューマン・ライツ・ウォッチは次のように記した。「トルコが暴力へと墮落していく目まぐるしいほどのスピードは、メディアによりそれに値する程報道されていない。ヒュッリイェトに対する 2 度目の攻撃とともに、政治的反対派に対する大規模な攻撃が始まり、6 月の総選挙で投票の 13% を獲得した、親クルド的で左寄りの国民民主主義党（HDP）の数百の事務所を全国で群衆が攻撃している...」²⁰ 2015 年 9 月 9 日、ザ・テレグラフ紙は、HDP の指導者であるセラハッティン・デミルタシュが「この 2 日間、HDP の施設に対して 400 件を上回る攻撃が実行された...我々は組織的なリンチに直面している」²¹と語ったと報じた。

7.1.4 2015 年 10 月にミドル・イースト・アイは次のように述べた。「HDP の事務所は選挙前と停戦崩壊後の双方において、極右の街のチンピラによる事務所荒らしの対象となった。

「超民族主義的な灰色の狼 — 民族主義者行動党（MHP）と結びついている民兵運動 — と、AKP と連携しているストリートムーヴメントの Ottoman Hearths のメンバーたちが、攻撃の主な扇動者であると考えられている。

2016 年 1 月 8 日。

¹⁸ ヒューマン・ライツ・ウォッチ。「トルコ：エスカレートする暴力の中でのメディアに対する取り締まり」、2015 年 9 月 11 日付。 <http://www.refworld.org/docid/55f69d7a4.html> アクセス日：2016 年 1 月 13 日。

¹⁹ BBC ニュース。「トルコで起きた 2 件の爆発は、親クルドである HDP 党が標的」、2015 年 5 月 18 日付。 <http://www.bbc.com/news/world-europe-32781262> アクセス日：2016 年 2 月 1 日。

²⁰ ヒューマン・ライツ・ウォッチ。「トルコ：エスカレートする暴力の中でのメディアに対する取り締まり」、2015 年 9 月 11 日付。 <http://www.refworld.org/docid/55f69d7a4.html> アクセス日：2016 年 1 月 13 日。

²¹ ザ・テレグラフ。「群衆がトルコのクルド人を標的に攻撃を行っているため、内戦の恐れ」、2015 年 9 月 9 日付。 <http://www.telegraph.co.uk/active/11854390/Fears-of-civil-war-as-mobs-attack-Kurdish-targets-in-Turkey.html> アクセス日：2016 年 1 月 11 日。

「クルド人過激派による攻撃で 14 人の警官が死亡した後の、9 月初旬の 5 日間にわたって、130 棟を上回る HDP の建物が攻撃を受け、その多くが焼失し、窓々からはトルコの国旗がつるされた。他の地域ではクルド人とクルド系企業が攻撃を受け、ある男性はカメラに写るところで、トルコ建国の父、ムスタファ・ケマル・アタチュルクの胸像にキスすることを強いられたと報じられた」²²

7.1.5 欧州安全保障協力機構（OSCE）による 2015 年 11 月付けの報告書は、次のように述べた。

「HDP が OSCE/ODIHR LEOM [欧州安全保障協力機構/民主的機関・人権局限定的選挙監視ミッション] に提出したデータによれば、[2015 年] 9 月 6 日から 10 月 9 日にかけて党の事務所に 129 件の攻撃が行われた。MoI が提供したデータによれば、10 月には政党の事務所に対して次の攻撃が行われた：AKP9 件、HDP7 件、CHP1 件」²³

7.1.6 バイアネットは 2015 年 9 月 8 日の HDP への襲撃について次のように報じた。「トルコの様々な県で、国民民主主義党（HDP）の本部が襲撃された。HDP のイスタンブール県の組織はツイッターのアカウントを通じて、HDP の 126 カ所の本部が次のような襲撃を受けたと語った。

「アンカラ

「アンカラのベイパザル地区で、一団がクルド人を襲撃し、いくつかのアパートと自動車に放火した。2 名の警官が負傷した。5 人が負傷して、ベイパザル国立病院に搬送された。

「テキルダー

「テキルダーのチョルル地区で、およそ 6 千人が同党の看板を引き倒し、トルコ国旗を掲げた。群衆は HDP のテキルダーの共同党首、Şehnaz Kaya にリンチを加えようとした。

「バルケシル

²² ミドル・イースト・アイ。「治安に関する懸念がトルコの投票準備期間に影を落とす」、2015 年 10 月 29 日付。
<http://www.middleeasteye.net/news/elections-loom-turkey-hdp-fear-security-their-supporters-1276687814> アクセス日：2016 年 1 月 13 日。

²³ 欧州安全保障協力機構（OSCE）。「トルコ、早期国会選挙、2015 年 11 月 1 日：予備的所見と結論の提示」、（8 ページ、脚注 33）、2015 年 11 月 2 日付。
<http://www.osce.org/odihr/elections/turkey/196351?download=true> アクセス日：2016 年 1 月 14 日。

「一団がバルケシル県の HDP 本部を破壊し、代理候補の Bedri Arik をめった打ちにした。彼らは『トルコ人と名乗れる者は幸せなるかな』（アタチュルクの格言）のスローガンを叫んだ。群衆は HDP の本部から物を街路に投げ捨て、党旗に火をつけた。

「イズミール

「イズミール県のディキリ地区で、一団が HDP 本部の窓ガラスを割り、HDP の旗を引きずりおろして、その代わりにトルコ国旗を掲げた。

「イスタンブール

「イスタンブールの Bağcılar 地区で、500 人が HDP の本部に反対する行進を行った。このグループは国歌を歌い、HDP の建物を襲撃した。ウシュクダル地区では、群衆が HDP の建物を攻撃する際にアラー・アクバルを唱えていた。

「メルスィン

「群衆がエルデムリ地区で、クルド人の商人と市バスを襲った。

「エルズルム

「アシュカレ地区で、クルド人建設労働者が加害者から攻撃を受けた」²⁴

7.1.7 平等権監視協会 (AMER) と社会協力・文化のための移民協会 (Istanbul-GöçDer) は 2015 年 11 月の国連人種差別撤廃委員会 (CERD) への代替国別報告において、2015 年 5 月 1 日から 10 月 30 日にかけて発生した HDP への 襲撃事件リスト を提示した。²⁵

[目次に戻る](#)

7.2 HDP の集会に対する攻撃

7.2.1 2015 年 6 月 5 日、トゥデイズ・ザマン紙はディヤルバクルで起きた HDP 集会への爆弾攻撃について次のように報じた。

「目撃者と報道によれば、[2015 年 6 月 5 日には] 5 分間の間隔を空けて続けて起きた

²⁴ バイアネット。「トルコの諸県で HDP に対する襲撃」、2015 年 9 月 8 日付。
<http://bianet.org/english/people/167451-attacks-against-hdp-in-provinces-of-turkey> アクセス日：2016 年 1 月 11 日。

²⁵ 平等権監視協会 (AMER) および社会的協力と文化のための移民協会 (Istanbul-GöçDer)。CERD への代替的国別報告書 (付属書 3)、2015 年 11 月 2 日付。
http://tbinternet.ohchr.org/Treaties/CERD/Shared%20Documents/TUR/INT_CERD_NGO_TUR_22_236_E.pdf アクセス日：2016 年 2 月 19 日。

2 件の爆発によって、数千人が参加していたトルコ南東部でのクルド人政党の選挙集会が混乱し、少なくとも 2 名が死亡し、200 名以上が病院に搬送された。爆発は、親クルド政党である国民民主主義党（HDP）が、クルド人住民の優勢なトルコ南東部の大都市、ディヤルバクルで開いた選挙前最後の選挙集会で、同党の指導者、セラハッティン・デミルタシュが群衆への演説を準備していた時に起きた...

「現場を目撃した英国の写真家、ガイ・マーティンはロイターに対して、爆発は 5 分ほどの間隔を置いて起き、1 度目はゴミ箱が爆発してそのゴミ箱はバラバラになり、2 度目は発電機の正面で起きたと語った。その後、彼は片足を失った人と、傷口がぱっくりと開いた人たちを目にした。『警察は負傷者を手助けしたり、この場から逃れようとしていた人たちに向かって催涙弾を発射し始め、それが状況を煽りました』と彼は付け加えた。『怒りが立ち込めていました。人々は報復を望んでいます』...

「日曜に実施される選挙に先立って緊張が高まっているため、HDP の政治集会では厳重な警備が行われている。木曜日には民族主義者たちがデミルタシュの集会で HDP 支持者と衝突して、北部の町、エルズルムで暴動が起きた。デミルタシュは、HDP が選挙戦中に 70 件以上の暴力的な攻撃の対象になってきたと述べている。

「レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領は、この爆発は日曜日の国会選挙前に平和を損なうことを目的とした「挑発」であると述べた。この事件に関する悲しみと犠牲者に対する弔意を表明した声明書でエルドアン大統領は、国家当局がこの事件について慎重な捜査を実施中であると述べた」²⁶

7.2.2 トゥデイズ・ザマン紙は 2015 年 6 月 13 日、ディヤルバクルで起きた HDP の集会への爆弾攻撃による死亡者数が 4 人に増えたと報道した。この記事は、次のように付け加えた。「この攻撃に関連して 1 名が逮捕されたが、当局はこの容疑者の身元または動機について何の声明も出していない。HDP の共同党首であるセラハッティン・デミルタシュは、この攻撃はイラク・レバントのイスラム国（ISIL）と関連していると主張している。

「デミルタシュは金曜日に出した声明で、アナトリア南東部で緊張を煽ろうとする新たな試みに警告を発し、ISIL の数十の細胞がトルコ全土における攻撃開始の命令を待っている」と述べた」²⁷

²⁶ トゥデイズ・ザマン紙。「ディヤルバクルの HDP の集会で起きた爆発で、2 人が死亡」、2015 年 6 月 5 日付。

http://www.todayszaman.com/anasayfa_two-killed-in-bomb-blasts-at-hdp-rally-in-diyarbakir_383363.html アクセス日：2016 年 2 月 1 日。

²⁷ トゥデイズ・ザマン紙。「HDP の集会における爆発による死者数、4 人に増える」、2015

7.2.3 BBC ニュースのウェブサイトは 2015 年 10 月 10 日に、アンカラで行われた平和集会で起きた爆発について次のように報じた。

「当局によれば、トルコの首都、アンカラでの平和集会で起きた 2 件の爆発により、少なくとも 95 名が死亡し、245 名が負傷したという。テレビは人々が慌てふためき、抗議の横断幕が掲げられる中で血にまみれて地面に横臥している人がいる映像を流していた。爆発は同市の中央駅の近くで、左翼グループが組織したデモ行進のために人々が集まっていた時に起きた。この攻撃は、トルコ国内でこれまでに起きたものとしては最も多くの犠牲者を出した。

「アフメト・ダウトグル首相は国が 3 日間喪に服することを発表し、2 人の自爆犯がこの攻撃を実行した証拠があると述べた。レジェップ・タイップ・エルドアン大統領は、結論の出なかった 6 月の選挙のやり直し選挙の 3 週間前に起きたこの攻撃はテロ行為であり、『忌まわしいものである』と語った。大統領は予定されていたトルクメニスタン訪問を取り消した。

「集会は、クルド人分離派である PKK の過激派とトルコ政府の間の暴力に終止符を打つよう要求する予定で、現地時間の 12 : 00 に始まることになっていた。親クルド的な HPD 党は出席者の中に数えられており、同党のメンバーが爆破の主なターゲットであったと確信していると声明で述べた。HDP の指導者であるセラハッティン・デミルタシュは、この攻撃は国の責任であると非難し、すべての選挙集会をキャンセルした。デミルタシュ氏は腹立たし気に政府を「殺人者」と非難し、政府はその手を血で汚したと述べた。同党はこれまで、クルド人活動家に対する攻撃を共謀したと政府を非難してきたが、政府はこれを否定しており...

「集会に参加していた Bulent Tekdemir は BBC に対して、警察は『爆発が起きるや否や』催涙ガスを使用し、『救急車を通そうとしなかった』と語った。ある地元住民は、人々が腹を立てて爆発の後に警察の車を攻撃しようとしたと話した。HDP はツイッターで、警察が負傷者を離れたところへ運んでいる人々を『攻撃した』と述べた」²⁸

7.2.4 デイリー・サバ紙は 2015 年 10 月に、アンカラの爆発を起こした自爆犯の 1 人の身元が特定されたと次のように報じた。

年 6 月 13 日付。

http://www.todayszaman.com/anasayfa_death-toll-from-bomb-blasts-at-hdp-rally-rises-to-4386023.html アクセス日 : 2016 年 2 月 1 日。

²⁸ BBC ニュース。「アンカラの爆発で 100 名近くが死亡して現場に残された『政府職員』」、2015 年 10 月 10 日付。 <http://www.bbc.com/news/world-europe-34495161> アクセス日 : 2016 年 2 月 1 日。

「アンカラ検察局は月曜日に声明を出して、アンカラで起きた恐ろしい爆破事件の自爆犯の 1 人は、ISIS との関連をもつ、Yunus Emre Alagöz という名のテロリストであることが特定されたと確認した。DNA 鑑定の結果、Alagöz は 7 月 20 日に 33 名が死亡して 100 名以上が負傷したシュリュジュでの爆発事件を実行した自爆犯容疑者、Şeyh Abdurrahman Alagöz の兄弟であることも明らかになった。...検察局は、爆破犯は『南部の隣国』から来たと述べて、彼らがシリア人であることも言外に示した」²⁹

[目次に戻る](#)

8. HDP 支持者の逮捕、拘留と捜査

8.1.1 2014 年を対象とし、2015 年 6 月に公表された米国国務省の国別人権報告書は、次のように述べていた。

「HRA [国内 NGO の人権協会] は、ジャーナリスト、政党役員、学者を含めて、様々な政治的見解をもつ政治犯が数百名いると主張した。政府は、これらの人々はテロ組織のメンバーである、またはテロ組織を支援した容疑で告発されているのだと述べた。テロ防止法の適用に対して第 4 および第 5 の包括的司法対策によって新たな限定が課されたにもかかわらず、検察はテロについての広義の定義と国家安全保障に対する脅威を用い続けた。同法は、暴力の教唆者、暴力の行使を支持したと申し立てられているが自身では暴力を行使しなかった人々、および暴力を拒否しているが様々な政治運動の基本理念としての目標の一部または全部に共鳴している人々をいまなお区別していない。

「司法省によれば 8 月 18 日現在、テロを告発されている被拘留者が 930 名、服役者が 4,889 名いたという」³⁰

8.1.2 2015 年 9 月にマイノリティ・ライツ・グループ・インターナショナルは次のように述べた。「HDP の人権委員会は [2015 年 6 月の] 選挙以降、同党の党员 1,620 名が拘留されていると主張している。その中には、ハッカリ、スル、シルヴァンやエドレミットの共同市長、村長、HDP の地区や県支部のメンバー、未成年者や学生が含まれ

²⁹ デイリー・サバ紙。「アンカラの自爆犯、シュリュジュでの爆破事件の容疑者の兄弟であることが特定される」、2015 年 10 月 19 日付。

<http://www.dailysabah.com/investigations/2015/10/19/ankara-suicidebomber-identified-as-brother-of-suspected-attacker-in-suruc-bombing> アクセス日：2016 年 2 月 2 日。

³⁰ 米国国務省。「2014 年国別人権報告書」、2015 年 6 月公表（トルコ：セクション 1e；政治犯と被拘留者）。

<https://www.state.gov/j/drl/rls/hrrpt/humanrightsreport/index.htm?year=2014&dliid=236586> アクセス日：2016 年 1 月 13 日。

ている」³¹

8.1.3 2015 年 10 月、ミドル・イースト・アイは次のように述べた。「[2015 年 7 月に政府と PKK の間の] 停戦が崩壊して以来、トルコ南東部ではトルコの治安部隊による大掛かりな作戦が行われ、地元の HDP 所属の市長数十名や数百名の活動家が刑務所で衰弱していると報じられている。

「HDP の報道官は、HDP とその姉妹党である平和民主党（BDP）の党員 1,400 名以上が拘留される一方で、220 名が正式に逮捕されたと主張している...」³²

8.1.4 2016 年 1 月、RT ニュースは次のように報じた。

「トルコ警察は、親クルドの野党、HDP のイスタンブール事務所を家宅搜索し、恣意的に上級幹部数名を拘留した...この逮捕は、エルドアン大統領が同党の党員に対する法的措置を要求したために行われた。左翼でマイノリティを支持する国民民主主義党（HDP）の党員 5 名はイスタンブールにある同党の事務所の 1 つに対する警察の家宅搜索で拘留された、と同党の代表たちは述べている。この家宅搜索には特殊部隊が加わったと報じられている。逮捕者の中には、HDP のベヨグル支部の共同議長、Rukiye Demir が含まれていた...」³³

目次に戻る

8.2 HDP と PKK の間にあると申し立てられている関連

8.2.1 ヒューマン・ライツ・ウォッチはワールドレポート 2016 において次のように述べた。「7 月以降、当局は、市長を含む数百名のクルド人寄りの政党の役員や活動家に対して新たに次々と捜査を開始し、テロのかどで多くを拘留したが、その中には非暴力的な政治結社や平和的な抗議集会、記者会見への関与が証拠となっていた事例があ

³¹ マイノリティ・ライツ・グループ・インターナショナル。「トルコで続く暴力を懸念し、MRG は危機に対する平和的解決を促す」、2015 年 9 月 15 日付。Refworld のウェブサイト、<http://www.refworld.org/docid/55fbc2c4.html> を介して閲覧可能。アクセス日：2016 年 1 月 7 日。

³² ミドル・イースト・アイ。「治安に関する懸念がトルコの投票準備期間に影を落とす」、2015 年 10 月 29 日付。
<http://www.middleeasteye.net/news/elections-loom-turkey-hdp-fear-security-their-supporters-1276687814> アクセス日：2016 年 1 月 13 日。

³³ RT ニュース。「トルコ警察、HDP の党本部に対する家宅搜索で、親クルド的な複数の野党政治家を逮捕」、2016 年 1 月 8 日付。
<https://www.rt.com/news/328311-turkey-raid-hdp-arrests/> アクセス日：2016 年 2 月 19 日。

った…」³⁴

8.2.2 TRT ワールドは 2015 年 9 月、PKK に属しているとして告発された HDP 党員の逮捕に関して次のように報じた。「トルコの裁判所は土曜日、『テロ組織のメンバー』であり、トルコの南東部のムス県において『テロ組織を支援し、扇動した』容疑で、国民民主主義党（HDP）のワルト地区の共同責任者、Halide Akay を含む 3 名の容疑者の逮捕を命令した。

「治安関連情報筋によれば、ムス警察に属するワルト地区のテロ防止チームは金曜日にこの 3 人（Akay、その夫の Ali Dogan Akay と Murat Guler）を拘留した。ワルト地区の共同責任者である Sabite Ekinici の公式運転手である Murat Guler は、非合法化されている PKK の青年部、YPG-H のメンバーで、非合法デモに参加したと疑われている。

「政治アナリストの Galip Dalay は TRT ワールドに対して、大いに論じられている HDP と PKK の関係についてコメントし、『PKK は国内の権力階層のトップにある』と語っている」³⁵

8.2.3 シリアの独立系通信社である ARA ニュースは、2015 年 12 月 30 日に次のように報じた。

「トルコの治安当局は火曜日、イズミール県でクルド人政治家と国民民主主義党（HDP）の党員 9 名を逮捕した。トルコ当局は、クルド労働者党（PKK）— 同国南東部のクルド人地域でトルコ軍と紛争状態にある [ママ] — を支持しているとして、この HDP 党員たちを告発した。トルコの国営メディアは、逮捕されたクルド人政治家たちはイズミールでの抗議行動中に親 PKK 的なスローガンを掲げたと報じた。HDP の支持者数十名がイズミール県の西部で、クルド人地域全体にわたってトルコ軍の軍隊が軍事行動を続けていることに抗議した」³⁶

8.2.4 トゥデイズ・ザマン紙は 2015 年 12 月に次のように報じた。「...エフカン・アラ内務相は、[2015 年] 7 月下旬以来罷免された HDP 所属の市長の人数は 18 名であると語った。彼は、これら市長が罷免されたのは、クルド人が優勢な南東部の町々で、PKK

³⁴ ヒューマン・ライツ・ウォッチ。ワールドレポート 2016 ; トルコ、2016 年 1 月 27 日。
<https://www.hrw.org/news/2016/01/27/world-report-2016-politics-fear-threatens-rights>
において閲覧可能。アクセス日：2016 年 2 月 18 日。

³⁵ TRT ワールド。「HDP の地区共同責任者、トルコの南東部で逮捕」、2015 年 9 月 19 日付。
<http://www.trtworld.com/turkey/hdp-district-co-head-arrested-in-turkeys-southeast-8122>
アクセス日：2016 年 2 月 3 日。

³⁶ ARA ニュース。「トルコ、軍事行動を非難したことでクルド人政治家 9 名を逮捕」、2015 年 12 月 30 日付。
<http://aranews.net/2015/12/17318/> アクセス日：2016 年 2 月 3 日。

と関係をもつ愛国革命青年運動（YDG-H）のテロリストたちが市の機器を使用して塹壕を掘るのを市長たちが認めたためであると述べた。

『これまでのところ、18名の市長に対して行政捜査が開始されている。彼らはすべて罷免され、一部は逮捕された』とアラ内務相は語った」³⁷

8.2.5 ロイターは2016年1月に、次のように報道した。「トルコ警察は金曜日、親クルド的な国民民主主義党（HDP）のイスタンブールの事務所の1つに対する家宅捜索で、HDPの地方役員を含む6名を拘留したが、これは、タイIPP・エルドアン大統領が、同党の党員に対する法的措置を支持すると述べた数日後のことであった。

「国営のアナドル通信社によれば、この捜査には機動隊と特殊部隊が参加したが、同通信社は、この措置はクルド労働者党（PKK）の過激派グループの青年部の都市ネットワークに対する取り締まりの一環であると述べた。エルドアン大統領と政府は、国会で第三党であるHDPを南東部でのクルド人の自治拡大を求めて三十年にわたって反政府活動を行っており、トルコ、米国、そして欧州連合によってテロ集団と見なされているPKKの関係団体であるとして非難している。HDPは暴力に反対し、トルコのクルド人に対する平和的な解決を求めると述べている。

「この拘留は、HDP所属の一部議員と地方の市長がテロ組織のメンバーのように行動しており、彼らはその立場にあるからと言って訴追から保護されるべきでないとエルドアンが述べてから48時間も経たない内に行われた。

「イスタンブール警察は声明の中で、この行動はPKKのメンバーによって実行されたと疑われている2015年6月の殺人事件の捜査の一環であり、凶器がHDPの建物の中にあるという手がかりに基づいている、と述べた」³⁸

[目次に戻る](#)

8.3 クルド人の自治

8.3.1 2015年11月付けの欧州安全保障協力機構（OSCE）による報告書は、次のように述べていた。

³⁷ トゥデイズ・ザマン紙。「HDP所属の市長、その他24名がメルスィンで不正入札の申し立てにより拘留」、2015年12月18日付。
http://www.todayszaman.com/anasayfa_hdp-mayor-24-others-detained-in-mersin-over-alleged-bid-rigging_407330.html アクセス日：2016年2月3日。

³⁸ ロイター。「トルコ警察、イスタンブールの家宅捜索で親クルド的な野党のメンバーを拘留」、2016年1月8日付。
<http://www.reuters.com/article/us-turkey-kurds-idUSKBN0UM0XV20160108> アクセス日：2016年2月3日。

「全国レベルである HDP の関連団体、民主主義地域党の党员である 20 名を上回る市長たちが、領土保全と国の統一に対する侵害についての犯罪捜査を理由に、内務相によって停職処分を受けた。HDP から OSCE/ODIHR LEOM [欧州安全保障協力機構//民主的機関・人権局限定的選挙監視ミッション] に提供されたデータによれば、[2015 年] 7 月 20 日から 10 月 18 日までの間に、HDP の党员 2,590 人が拘留され、630 人が逮捕された」³⁹

8.3.2 2015 年 8 月に、TRT ワールドのニュースウェブサイトは次のように、5 人の市長の逮捕理由を示した。「日曜日に、南部のハッカリ県の 5 人の地区市長を含む容疑者 8 名が拘留され、次いで、彼らの地域における『自治』の宣言に続いて逮捕された。ハッカリの共同市長で HDP に所属する Dilek Hatipoglu と Nurullah Ciftci は、統一を脅かしたことに對する裁判を受けた後で逮捕された。

「先週、南東部のディヤルバクル県のスルとシルヴァン地区の市長が『自治』に関して宣言を行った後で逮捕された。この宣言の後に、ディヤルバクルの主任検察局が調査を開始していたのだった。スル地区の Seyid Narin 市長とシルヴァン地区の Yuksel Bodakci 市長は、国家の統一と領土保全を混乱させた容疑で、民主主義地域党 (DRP) の他の 5 名と共に逮捕された。

「DRP は HDP から分かれており、HDP が全国的な政治の舞台で活動しているのに対して、地方組織を担当している」⁴⁰

8.3.3 ジャーナル・オブ・ターキッシュ・ウィークリー誌は 2016 年 1 月 4 日に次のように報じた。「クルド人問題に注力する国民民主主義党 (HDP) は、その共同党首の 1 人がクルド人の自治拡大を求める呼びかけについての捜査を受けているいま、[2016 年] 1 月末までに、『自律』と『自治』に賛成する集会を開くことを計画している...

「HDP の共同党首であるセラハッティン・デミルタシュは、自己統治の拡大を呼びかけて 2 日間にわたって開かれたクルド人集団の大会に参加していた 1 人で、大会に際して、『次の世紀にはクルディスタンがあって、独立国家を含む可能性がある』と述べた。デミルタシュの呼びかけに対して [2015 年] 12 月 28 日に検察が彼に関する捜査

³⁹ 欧州安全保障協力機構 (OSCE)。「トルコ、早期国会選挙、2015 年 11 月 1 日：予備的所見と結論の提示」、(8 ページ、脚注 33)、2015 年 11 月 2 日付。
<http://www.osce.org/odihr/elections/turkey/196351?download=true> アクセス日：2016 年 1 月 14 日。

⁴⁰ TRT ワールド。「HDP に所属するヴァンの地区市長、国家の統一を混乱させたかどで投獄さる」、2015 年 8 月 25 日付。
<http://www.trtworld.com/turkey/hdp-district-mayor-in-van-jailed-for-disrupting-state-unity-6664> アクセス日：2016 年 2 月 3 日。

を開始した一方で、レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領も週末には、HDP の指導者の自治についてのコメントに基づいて彼らに対して行われる犯罪捜査を支持すると述べた」⁴¹

8.3.4 ミドル・イースト・アイは、「[2015 年] 10 月 23 日に HDP は、HDP の選挙公約が『行政上の自治』に言及していることを理由に、アグリ県の地方裁判所がこの公約を禁止したと主張した」と述べた。⁴² 欧州安全保障協力機構（OSCE）による 2015 年 11 月付のある報告書は、「[2015 年] 10 月 16 日に、刑事裁判官が、テロ防止法に基づく捜査における犯罪の証拠として、『地方分権政府』に言及していた [HDP のキャンペーン用の] チラシの没収を命令した」⁴³と述べていた。

目次に戻る

9. 国家保護

9.1.1 2015 年 9 月、ヒューマン・ライツ・ウォッチは HDP に対する暴力を受けて、次の声明を出した。「メディアと政治的対象に対する暴力的な攻撃を、その事象が起こってからずっと後になって非難する政府の穏やかな声明では不十分である。政府はあらゆる努力を行って、暴力行為とを行った者たちが十分な捜査を受けることを確保し、リンチを行おうとする群衆がトルコの政治文化の一部であってはならないとする強力なメッセージを発するべきである」⁴⁴

9.1.2 2015 年 9 月、アムネスティ・インターナショナルは次のように述べた。

「アムネスティ・インターナショナルはトルコ当局に対して、クルド労働者党（PKK）とトルコの治安部隊との間の武力衝突に関して知覚された姿勢を理由として左翼主義的でクルドに根を持つ国民民主主義党（HDP）、クルド人の個人、その他の集団や組織

⁴¹ ジャーナル・オブ・ターキッシュ・ウィークリー。「トルコの HDP、自治政策についての政府との緊張状態の中、『自治』に関する集会の開催を計画」、2016 年 1 月 4 日付。

<http://www.turkishweekly.net/2016/01/04/news/turkey-s-hdp-plans-to-hold-autonomy-rallies-amid-tension-with-gov-t-over-self-rule-policy/> アクセス日：2016 年 1 月 8 日。

⁴² ミドル・イースト・アイ。「治安に関する懸念がトルコの投票準備期間に影を落とす」、2015 年 10 月 29 日付。

<http://www.middleeasteye.net/news/elections-loom-turkey-hdp-fear-security-their-supporters-1276687814> アクセス日：2016 年 1 月 13 日。

⁴³ 欧州安全保障協力機構（OSCE）。「トルコ、早期国会選挙、2015 年 11 月 1 日：予備的所見と結論の提示」、（8 ページ、脚注 33）、2015 年 11 月 2 日付。

<http://www.osce.org/odihr/elections/turkey/196351?download=true> アクセス日：2016 年 1 月 14 日。

⁴⁴ ヒューマン・ライツ・ウォッチ。「トルコ：暴力がエスカレートする中でのメディアへの弾圧」、2015 年 9 月 11 日付。<http://www.refworld.org/docid/55f69d7a4.html> で閲覧可能。

アクセス日：2016 年 1 月 13 日。

を標的にして群衆が行った最近の暴力的な攻撃について速やかに、徹底的かつ公平な捜査を実行するよう呼びかける。アムネスティ・インターナショナルは、多くの場合に執拗に行われた攻撃の際に警察が群衆からの適切な保護を提供しなかったという被害者の報告を憂慮しており、当局に対して、さらに攻撃が行われた場合にはその市民の安全を保護するという義務を必ず守り、表現の自由の権利を平和的に行使するための安全な状況を確保するよう呼びかける...

「[2015 年] 9 月 8 日に、群衆がアンカラにある HDP の本部を何度も攻撃し、建物の一部に火を点け、警察によって追い散らされる前に大損害を引き起こした。アンカラ県知事は、およそ 200 人がこの襲撃に参加したと述べた。この事件に関連して 1 名が拘留されたが、HDP は、攻撃中に警察が十分な介入をしなかったと主張した...

「[2015 年] 9 月の 7 日と 9 日に、政府に批判的な日刊紙ヒュッリエトのイスタンブール事務所を群衆が襲撃したのは、大統領がその演説についての同紙の報道を非難した後であった。メディアの報道によれば、この襲撃に関連して 6 名が拘留された。

「内務省によれば、トルコ全土で攻撃が行われた結果、市民 2 名が死亡し、警官が 41 名と民間人が 51 名負傷し、政党の建物 69 棟、家庭と企業 30 軒、自動車 8 台が損傷を被った。内務省は、事件に関連して 310 名が拘留されていると述べた。攻撃の主な標的となった HDP は、9 月の 7 日と 8 日に党の事務所、クルド系企業やクルド人に対して 400 件を上回る攻撃が行われ、最初の晩だけでも 126 ヲ所の事務所が攻撃を受けたと報告した...

「アムネスティ・インターナショナルはトルコ当局に対して、平和的集会の権利を尊重しつつ、今後のデモが有効に取り締まれ、群衆の攻撃が起きるのを認めないことを確実にするよう呼びかける...」⁴⁵

9.1.3 トルコ・ラジオ・テレビ公社のニュースウェブサイトの TRT ワールドは、2015 年 6 月 7 日に次のような記事を公表した。「日曜に行われたトルコの総選挙で投票を行った後に、トルコのアフメト・ダウトグル首相は記者団に対して、トルコの南東部にあるディヤルバクル県で親クルド的な国民民主主義党（HDP）の集会で起きた爆発に関して容疑者 1 名が拘留されていると述べた。

「ダウトグルは報道機関に対して、『捜査の安全のために、現在のところ [容疑者の]

⁴⁵ アムネスティ・インターナショナル。「トルコ：最近の民族主義者による攻撃を調査する」[EUR 44/2493/2015]、2015 年 9 月 22 日付。ecoi.net : http://www.ecoi.net/file_upload/1226_1442991812_eur4424932015english.pdf で閲覧可能。アクセス日：2016 年 1 月 14 日。

氏名を明かすことはできない。我々は事件の原因を根本まで探っていく。誰がこの事件を起こしたにせよ、この事件は民主主義に対する攻撃である』とダウトグルは付け加えた。

「金曜日にディヤルバクル県で行われた HDP の選挙集会中に 2 度の爆発が起きて、100 人以上が負傷し、2 人が死亡した。

「この爆発は、トルコのレジェップ・タイイップ・エルドアン大統領やダウトグル首相を含む政治指導者によって厳しく非難され、『挑発の試み』だと述べられた。」⁴⁶

9.1.4 デイリー・サバ紙は 2015 年 10 月に、アンカラでの爆発事件と関連する自爆犯の 1 人が特定されたと報じた。この記事は、次のように続いた。「殺害を意図し、100 名以上を死亡させ、それ以外にさらに 250 名近くがアンカラで負傷した 2 件の自爆テロについての捜査は続いており、自爆犯たちは ISIS との関連があると考えられている。これまで 13 人が攻撃への関与を疑われて拘留されており、捜査は進行中である。」⁴⁷

9.1.5 ヒュッリエト・デイリー・ニュースは 2015 年 5 月 18 日に、オメル・チェリック文化相がアダナとメルスィンでの攻撃を非難して、爆破事件について捜査するために警察、憲兵隊と国家情報機構 (MIT) と協力して特殊部隊が結成されたと報じた。⁴⁸

9.1.6 ミドル・イースト・アイは、ディヤルバクル県知事室の出した声明には、HDP 指導者であるセラハッティン・デミルタシュが、ディヤルバクルでの [2015 年 11 月中] の同氏の滞在全般を通じて警察から保護の提供を受けていたことが述べられていると報じた。⁴⁹

⁴⁶ TRT ワールド。「ダウトグル首相、HDP の集会での爆発事件に関して拘留を発表」、2015 年 6 月 7 日付。

<http://www.trtworld.com/turkey/pm-davutoglu-announces-detention-over-hdp-rally-bombing-2650> アクセス日：2016 年 1 月 20 日。

⁴⁷ デイリー・サバ。「アンカラの自爆犯、シユリュジュでの爆破事件の容疑者の兄弟であることが特定される」、2015 年 10 月 19 日付。

<http://www.dailysabah.com/investigations/2015/10/19/ankara-suicidebomber-identified-as-brother-of-suspected-attacker-in-suruc-bombing> アクセス日：2016 年 2 月 2 日。

⁴⁸ ヒュッリエト・デイリー・ニュース。「HDP と政府、トルコ南部における党事務所への爆弾攻撃をめぐる対立状態に」、2015 年 5 月 18 日付。

<http://www.hurriyetdailynews.com/hdp-govt-in-row-over-party-office-bombings-in-south-ernturkey.aspx?PageID=238&NID=82580&NewsCatID=509> アクセス日：2016 年 2 月 1 日。

⁴⁹ ミドル・イースト・アイ。「トルコの親クルド政党、党の指導者が暗殺の試みから逃れる、と語る」、2015 年 11 月 23 日付。

<http://www.middleeasteye.net/news/turkey-pro-kurdish-party-says-leader-escapes-assassination-attempt-1149077486> アクセス日：2016 年 1 月 13 日。

[目次に戻る](#)

バージョン管理と連絡先

連絡先

ガイドンスについて疑問があり、ライン管理者もしくは上級ケースワーカーがその疑問を解決できない場合、またはガイドンスに事実に関する錯誤があると思われる場合には、国別方針・情報チームに電子メールをお送りください。

本ガイドンスの体裁の誤りに気付かれた場合（リンクが機能しない、スペルミスがあるなど）、またはガイドンスのレイアウトやナビゲーション機能にご意見がある場合には、ガイドンス・ルール・書式チームに電子メールをお送りいただくことができます。

承認

下記は、本バージョンの承認時期に関する情報です。

- ・バージョン：1.0
- ・有効期間：2016年3月29日から
- ・本バージョンの承認者：IBPD ディレクター代理、Sally Weston
- ・承認日：2016年3月24日

[目次に戻る](#)